

2011年度

科目名	文化財科学Ⅱ(保存科学)				
担当教員	増澤 文武				
配当	文財4		コード	24023	
開期	後期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	文化財の保存・修復				
目的と概要	文化財科学(広義の保存科学)は文化財の自然科学的調査・研究(年代測定、産地同定、材質や製法技術、古環境復原)と文化財の保存継承のための調査研究・技術開発(狭義の保存科学)ならびに文化財調査のための技術開発がある。本講義はこれらの中の「文化財の保存継承に係わる自然科学的・技術的研究」すなわち狭義の保存科学について概説する。あわせて文化財の保存・継承の意味を事例を通して学ぶ。				
成績評価法	平常点30%、試験結果70%の割合で評価する。平常点は積極的な聴講態度と質疑応答により評価する。				
テキスト	なし				
参考書	『文化財保存環境学』、三浦定俊・佐野千絵・木川りか著、朝倉書店 『文化財のための保存科学入門』、京都造形芸術大学編、角川学芸出版				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	講義中、質問に対して誰にも伝わる回答と、積極的な質疑応答を期待する。 聴講後、特に復習に力を入れ、次の授業の際、質問や意見を述べて欲しい。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション、文化財の保存面から見た歴史				
第2回	100年前の文化財保存修復に対する科学的・技術的取り組み				
第3回	文化財を保存継承する取り組み(事例を通して)				
第4回	文化財の保存継承についての質疑応答				
第5回	文化財保存環境学(1) 一大気・温湿度一				
第6回	文化財保存環境学(2) 一光・空気汚染一				
第7回	文化財保存環境学(3) 一生物劣化一				
第8回	博物館・資料館における総合的有害生物管理(IPM)				
第9回	文化財の修理(伝統技術)と考古遺物と民俗文化財の保存修復の概要				
第10回	出土土器の保存処理				
第11回	出土木器の保存処理				
第12回	出土木器・金属器の保存処理				
第13回	出土金属器の保存処理				
第14回	民俗文化財の保存処理				
第15回	まとめ				